

大阪城・大手前・森之宮地区

【大阪城公園】

- ◇民間による新たなイベント（モトクロスや3Dマッピングスーパーイルミネーションショーなど）を実施し、内外に大阪城の魅力を発信。
- ◇平成27年度より、民間事業者が公園及び公園施設を一体管理する「パークマネジメント（PMO）事業」を導入。

【大手前・森之宮】

- ◇大手前地区では、府立成人病センター移転工事着工のほか、府庁本館「正庁の間」の復元（庁舎を活用したにぎわいづくり）、大阪城公園と最寄駅を結ぶ歩行者空間ネットワークの形成などに取り組んできた。
- ◇森之宮地区では、『多世代が交流する、学びと健康とにぎわいのまち』をコンセプトにまちづくりを進めていく。

中之島ミュージアムアイランド構想

- ◇中之島4丁目の市有地において新たな美術館の整備に向けた「新美術館整備方針」を策定（平成26年9月）。今後、2021年度（H33）までの開館をめざす。
- ◇府立中之島図書館では、指定管理者制度の導入により文化事業の実施やレストランを設置。大阪市中央公会堂では、レストランリニューアルを行い、両施設の連携により都市魅力の向上を図る。

御堂筋フェスティバルモール化

- ◇新たなルールである地区計画や御堂筋デザインガイドラインを策定（H25年度）し、規制緩和等による賑わい空間の創出、歩行者空間の充実に向けた様々な社会実験に取り組んできた。
- ◇御堂筋を中心としたエリアにおいて、魅力的な建築物等を選定し、再生支援や特別公開イベント等を通じて、‘生きた建築’の魅力を創造・発信する「生きた建築ミュージアム」の取り組みを進めてきた。

天王寺・阿倍野地区

【天王寺公園・動物園】

- ◇天王寺公園エントランスエリア魅力創造・管理運営事業者とともに、公園エントランスエリア等の魅力向上に向けて取り組み、平成27年10月にエントランスエリア（愛称：てんしば）をリニューアルオープンした。
- ◇施設整備・CS向上に取り組むとともに、動物園開園100周年記念事業をはじめ「ナイトZOO」を期間限定で実施するなど、天王寺動物園の魅力向上に取り組んでいる。

築港・バイエリア地区

- ◇クルーズ客船の母港化に関しては、誘致活動により、本年3月には「クイーン・エリザベス」が、本年6月には東アジアに配船されている客船で最大の「クワンタム・オブ・ザ・シーズ」が大阪港に初入港するなど、年々入港隻数の拡大につなげている。
- ◇インナーハーバーの再生強化に関しても、各施設における民間事業者の活用が順次進展してきたことから、エリアの魅力向上と集客効果に一定の成果を見出している。